



## OZONE モジョ 4

オゾンというと競技志向のイメージが強いかもしれないが、少し前まではコンペ機よりもシリアルモデルに力を入れるメーカーだった。

もちろん今でも、全てのラインアップに全力投球しており、その全てが評判なのはご存知のとおり。

ちなみに今年メキシコで行われた世界NO.1を決めるスーパーファイナル世界選手権でも圧勝。

トルコで行われたプレPWCでは、10位までが全てオゾン。

ポルトガルオープンでは表彰台はすべてオゾンのグライダーと今年に入ってから絶好調。

そのオゾンが、ハイエンドEN-Aのモジョの最新モデルをリリースした。

ついにモジョシリーズも4代目に突入。

乗りやすさと性能が話題のオゾンのモデルなので、今回も期待を持ちながらのフライトとなった。

### コンセプト

EN-Aでリスクを負わず最高性能を！というのがモジョ4のコンセプトだ。ちなみについ先日加わったXSサイズを含め全サイズEN-Aを取得した。

軽量化しながら耐久性の向上。有害抵抗の軽減、さらに軽いライズアップ。

より自然なハンドリング、取り扱いし易さを保ちながら滑空性能の向上などがテーマとして挙げられた。

### スペック、構造、素材など

グライダーを受け取ってまず感じるの、幾分軽いなーということだ。Mサイズで1割以上軽くなっているとのこと。

生地は、ポルシェ製からドミニコ製に変わっていた。このドミニコ30DMFという生地は、オゾンの使用するカイトで実績があり、摩擦や紫外線に強く色あせし難いという特徴をもっている。発色がよく、手触りもしっかりとしていて丈夫そうな生地という印象だ。

肝心のエア漏れも従来の生地より優れた値で、その生地を上下面に採用している。

そして、エアーインテークの形状を変えて、より翼の効率を上げている。

その形状だけでなくリブには、形状を保つためにプラスチックのバテンを採用している。

ライン抵抗もモジョ3に比べて8%軽減させたという。

アスペクトは、取り扱いを考慮し実測5.0と変わらず。

これらの改良で、スペック上取り扱いを全く犠牲にせず性能を上げることに成功したと言ってよいだろう。

そして引き続き5サイズ用意され、小柄な日本人にフィットする体重レンジでサイズ構成されており、XSサイズは飛行重量55kgからとなる。

## ライズアップ

前モデルのモジョ3は、やや重く手ごたえがある印象だったが、ずいぶんと軽くなった。

好ましいのは、頭上に上がってくるまでが同じ速さでゆっくりなこと。モジョ4は、経験の少ない人も乗るグライダーなので重要な要素だ。

ためしに、体験コースで初めてパラグライダーをしに来た女性に、ライズアップしてもらった所、失敗せずに行うことが出来た。無風でも全く問題無くテイクオフできる。

## 操作性、旋回性

テイクオフしてまず感じるのは軽めで乗ったにもかかわらず、強い風でもしっかりと前に出ることだ。

風が強く、サーマルも乱れ気味で多くのパイロットが飛びを控えるようなコンディションにもかかわらず直進性能が高く嫌なヨーイングも感じられない。

旋回は、EN-Aのパスさせるためにストロークはやや多いもの一定のロールをキープしやすくとてもラクチンだ。

サーマルにも食い込みやすく、サーマル内でも自由に方向を変えることが出来た。このクラスにありがちな、サーマルにはじかれる様な動きはしないので乗っていて楽しい。

私には、適正サイズよりも1サイズ上のMサイズで多少引きしろが長いと感じた。



ルさせてしまうことは通常は考えにくい。その後の回復も、動きはおとなしめだ。

片翼潰しも50%以上潰すと、潰れた側に少し取られる程度で初心者でも余裕を持って対処できるだろう。今日は、非常に荒れた風でテンションが突然抜けるような激しい上下の風があったが潰されることはなかった。アクセルは、ダブルプーリーで軽い。加速感はとてもよく沈下も少なめで「使えるアクセレーター」である。踏んでいる間も安定度抜群！



これは、ブレイクコードを少し詰めることやグリップの持ち方を帰ることで解決できるレベルだろう。

ストール付近の挙動をみるために両方のブレイクコードを徐々に引き込んでみた。

失速までのストロークはかなり長くて腰の位置ぐらいだ。

翼が不安定になり始めてからさらに10cmぐらい引き込んでやっと完全にストールした。

十分の重さがあるので間違っても



スパイラルは、加速していくような感じはなく一定のバンクを保ちながらきれいに先回ることが出来た。

翼端折りは翼端折ライザーで行うことができる。回復に関しては、パラパラとゆっくりと自然回復した。

Bストールは、翼の変形が少ない状態で安定した沈下を得られ、風が安定していなくても暴れるようなそぶりはなく有効な降下手段として使うことができた。

さっそくこのMOJO4に興味のあるパイロットに声を掛けられた。安全性が抜群なのに、とても良く飛ぶのを見ていて気になったようだった。シルエットが美しくあまりEN-Aに見えないのも良いらしい。

#### モジョ4の総合評価

モジョ3が良いライダーだったので今回の試乗で進化を試したかったのだが全てのパフォーマンスがアップされた感じだ。すでに性能は、数年前のEN-Bに匹敵していると思った。

快適な乗り心地、使えるアクセル、サーマルへの入りやすさ、センタリングし射すさ等含めサンデーパイロットでも十分たのしめるEN-Aモデルだ。



画像上「スパン方向にテンションテープが入ったことで、翼の合成が上がった。アーチ状のインテークを採用した。強いアゲインストでも前進力がある。」